

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	国語	現代の国語	2
教科書				メディア利用	
新編現代の国語（東京書籍）				あり	
学習目標					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1月30日	こそそめスープ 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。	6-17	1 自己を見つめる 確認テスト
	第2回	1月30日	未来をつくる想像力 情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。	24-38	2 他者に出会う 確認テスト
	第3回	1月30日	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。	68-86	4 視野を広げる 確認テスト
	第4回	1月30日	鍋洗いの日々 自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。	94-115	5 社会と関わる 確認テスト
	第5回	1月30日	美しさの発見 「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。	142-158	7 世界とつながる 確認テスト
	第6回	1月30日	不思議な拍手 人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。	166-187	8 未来に目を向ける 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（2月） 試験あり （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	国語	言語文化	2
教科書					
新編言語文化（東京書籍）					
学習目標					
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。(2) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	「さくらさくら」ほか 随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。	10～35	1 随筆確認テスト
	第2回	1月30日	「詩歌」ほか 詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。	50～65	
	第3回	1月30日	「羅生門」ほか 描かれている内容から主題を読み取り、小説を深く味わう。	72～116	3 詩歌、4 小説 2 確認テスト 5 小説 3 確認テスト
	第4回	1月30日	「徒然草」ほか 古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。	138～163	2 随筆確認テスト
	第5回	1月30日	「伊勢物語」ほか 文章の展開や表現の特色に注目しながら物語を読み味わう。	170～195	
	第6回	1月30日	「漢文入門」ほか 漢文の特色を知り、きまりを確認するとともに、格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。	210～253	1 漢文入門確認テスト 2 漢詩 確認テスト 3 論語、4 史話 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（2月） 試験あり （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	国語	文学国語（後半）	2
教科書				メディア利用	
文学国語（東京書籍）				あり	
学習目標					
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1月30日	「国語から旅立って」ほか 随筆を読んで筆者の経験や思いを捉え、言葉と自分との関わりについて考える。	190～216	Ⅱ部 1 確認テスト② Ⅱ部 2 確認テスト①
	第2回	1月30日	「コンビニの母」ほか 小説における場面の描写を表現に即して捉え、そこに描かれた世界について考える。	217～246	Ⅱ部 2 確認テスト② Ⅱ部 3 確認テスト① Ⅱ部 3 確認テスト②
	第3回	1月30日	「空っぽの瓶」ほか 随筆を読んで優れた表現や叙述の仕方を理解し、感性や心情を豊かにする。	248～290	Ⅱ部 4 確認テスト① Ⅱ部 4 確認テスト② Ⅱ部 5 確認テスト① Ⅱ部 5 確認テスト②
	第4回	1月30日	「舞姫」ほか 文語文で書かれた小説を読み、人間の生き方について考えを深める。	292～328	Ⅱ部 6 確認テスト① Ⅱ部 6 確認テスト②
	第5回	1月30日	「演技する「私」」ほか 評論に示された筆者の論を精査し、芸術作品のありようについて考える。	330～346	Ⅱ部 7 確認テスト① Ⅱ部 7 確認テスト②
	第6回	1月30日	「葉桜と魔笛」ほか 多様な表現方法を用いて書かれた小説を読み、それぞれの作品世界を味わう。	348～371	Ⅱ部 8 確認テスト① Ⅱ部 8 確認テスト②
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（2月） 試験あり （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	地理歴史	歴史総合	2
教科書				メディア利用	
新選歴史総合（東京書籍）				あり	
学習目標					
近現代を中心に、史資料を活用し、日本と世界の歴史を相互に関連付け学び、多角的に歴史を考察する。また、課題を追究、解決する活動を通して、現代の問題と歴史との関連を学ぶ。広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	内容：18世紀の東アジア、イギリスの産業革命、東アジアの国際秩序の変化と日本の開国など 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。	7-51	
	第2回	1月30日	内容：アメリカの独立とフランス革命、明治維新、日清・日露戦争など 幕末から日露戦争の動乱の中で、日本の国際社会での動向を学ぶことで、現代の政治・経済・文化の基盤を把握する。	52-83	2章1節2節確認テスト 2章3節4節確認テスト
	第3回	1月30日	内容：第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界恐慌、ソ連の成立など 大衆化と対外政策、国際政治との関係を考え、第一次世界大戦が従来の戦争と大きく異なる点を学び、平和構築について思索する。	84-111	3章1節2節確認テスト
	第4回	1月30日	内容：世界恐慌、第二次世界大戦、太平洋戦争、第二次世界大戦後の世界など 戦争の悲惨な実態を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。	112-141	3章3節4節確認テスト
	第5回	1月30日	内容：冷戦、地域紛争、冷戦下の世界など 東西冷戦下での対立と地域紛争を学ぶことで、国際関係や平和を維持するための外交の重要性を考察する。	142-169	4章1節2節確認テスト
	第6回	1月30日	内容：石油危機、冷戦の終結、グローバル化と地域統合 現代社会が抱える問題を理解し、未来をより良くするための視点を養う。また、多様な価値観を尊重し、国際社会で生きる資質を育む。	170-197	4章3節4節確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第1章 2節 結びつく世界と日本の開国 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。			OLの日程に従う
	第2回	第2章 3節 経済危機と第二次世界大戦 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。			OLの日程に従う
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
期末（2月） 試験あり （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物の取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
無	後期	オンライン	地理歴史	地理総合	2	
教科書				メディア利用		
地理総合（東京書籍）				あり		
学習目標						
地図や統計などを活用して情報を読み解き、多様な地域の理解を深める。また、様々な地域や地球環境について学ぶことで、地域や環境の特徴を多面的・多角的に捉える力を育てる。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴対応教科書ページ	報告課題（確認テスト）
	第1回	1/30	地図、GISなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。		5 - 3 6	1編1章2章 確認テスト
	第2回	1/30	統計資料、グラフなどを読み解き、現代世界の国家群や貿易、交通、情報通信、観光などを多面的に学ぶ。		3 7 - 6 7	1編3章 確認テスト
	第3回	1/30	日本と世界の地域の特色を比較しながら、文化、自然、産業、生活様式の多様性や共通性を理解する。		6 8 - 9 1	2編1章 確認テスト
	第4回	1/30	地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。		9 2 - 1 3 5	2編2章 確認テスト
	第5回	1/30	地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。		1 3 6 - 1 7 2	2編2章 確認テスト
	第6回	1/30	自然災害について学ぶことで、地理的仕組みを理解し、自ら進んで行動する防災意識を育む。		1 7 3 - 2 1 7	3編1章 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程	
	第1回	地図、GISなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。			OLの日程に従う	
	第2回	地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。			OLの日程に従う	
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末（2月） 試験あり （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物の取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価				

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
無	後期	オンライン	公民	公共	2	
教科書				メディア利用		
公共（東京書籍）				あり		
学習目標						
社会の諸課題に関心を持ち、主体的に考え行動しようとする態度を育てる。また、情報を正確に読み取り、多面的・多角的に考え、他者と議論・協議しながら問題の解決に向けて思考を深める力を養う。個人の自由と社会のルールとの関係を理解し、公共の利益や正義を重視する倫理的態度や規範意識を身につける。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1/30	内容：青年期、宗教、功利主義、生命倫理、環境倫理など 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。		7-35	第1部第1章確認テスト 第1部第2章確認テスト
	第2回	1/30	内容：民主政治、地方自治、国会、内閣など 国会、内閣、裁判所などや選挙の制度、政党の役割などを学ぶことで、民主政治がどのように成り立ち、運営されているかを理解する。		36-83	第1部第3章確認テスト 第2部第1章確認テスト
	第3回	1/30	内容：法と社会規範、市民生活と私法、国民の司法参加など 法の必要性や法の社会的意義を理解する。また裁判員制度などを通じ、主権者としての責任意識や法に基づく判断力を育てる。		84-111	愛2部第2章確認テスト
	第4回	1/30	内容：市場経済、資本主義の歴史、金融、財政など 市場経済、金融、財政などのしくみや課題を学ぶことで、よりよい社会のあり方や政策について主体的に考え、意見を持つ力を養う。		112-145	第2部第3章確認テスト
	第5回	1/30	内容：労働者の権利と労働問題など 働くことの意味を考え、自分らしい働き方の選択や不当な労働から自分や他人を守る力を身につける。		146-173	第2部第4章確認テスト
	第6回	1/30	内容：国際社会のルール、平和主義、国際社会経済など 戦争、貧困、環境問題、難民など、地球規模の課題に目を向け、何が問題で、どうすれば解決できるかを主体的に考える力を育てる。		174-212	第2部第5章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など				日程
	第1回	第1章 (1) 現代社会に生きる成年 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。				OLの日程に従う
	第2回	第2章 (1) 法の働きと私たち 法の必要性や法の社会的意義を学ぶことで、個人の自由と社会のルールとの関係を理解し、公共の利益や正義を重視する倫理的態度や規範意識を身につける。				OLの日程に従う
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末（2月） 試験あり （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物の取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価				

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
無	後期	オンライン	数学	数学Ⅰ（前半）	2	
教科書				メディア利用		
新数学Ⅰ（東京書籍）				あり		
学習目標						
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	0章0節数の計算 1. 整数の計算 2. 小数・分数の計算 3. 計算の利用 【知識・技能】		P 4 ～ 2 3	—
	第2回	1月30日	4. 正負の数の計算 1章 数と式 1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式 3 多項式の計算（1） 4 多項式の計算（2） 5 乗法公式 【知識・技能】		P 2 4 ～ 4 1 P 4 6	数と計算確認 テスト
	第3回	1月30日	2節 実数 1 平方根 2 根号をふくむ式の計算（分母の有利化除く） 3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解 5 不等式の解き方 【知識・技能】		P 4 8 ～ 5 2 P 5 8 ～ 6 6	1章確認テスト
	第4回	1月30日	0章0節数の計算 1. 整数の計算 2. 小数・分数の計算 3. 計算の利用 4. 正負の数の計算 【思考・判断・表現力】		P 4 ～ 2 9	数と計算確認 テスト
	第5回	1月30日	1章 数と式 1節 文字と式 6 因数分解（1） 7 因数分解（2） 8展開，因数分解の工夫と利用 2節 実数 2 根号をふくむ式の計算（分母の有利化） 3節 方程式と不等式 3 不等式の性質 6 2次方程式とその解き方【思考・判断・表現力】		P 4 2 ～ 4 7 P 5 3 ～ 5 7 P 6 2 ～ 6 3 P 6 8 ～ 7 1	1章確認テスト
	第6回	1月30日	第1回～第5回の【主体的に学習に取り組む態度】		各問題に提示	—
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程	
	第1回	評価方法の説明、単位認定試験の学習の仕方 □ □			別途コース別 時間割による	
	第2回					
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末試験（2月3日・4日） （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題、調べ学習で評価する。				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	数学	数学Ⅰ(後半)	2
教科書				メディア利用	
新数学Ⅰ（東京書籍）				あり	
学習目標					
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	2章 2次関数（知識・技能） 1節 2次関数とそのグラフ 2節 2次関数の値の変化	P 7 3～1 0 2	2 章確認テスト
	第2回	1月30日	3章 三角比（知識・技能） 1節 鋭角の三角比 2節 三角比の応用	P 1 0 3～1 2 8	3 章確認テスト
	第3回	1月30日	4章 データの分析（知識・技能） 5章 集合と論証（知識・技能）	P 1 2 9～1 6 1	4 章確認テスト 5 章確認テスト
	第4回	1月30日	2章 2次関数（思考・判断・表現）	P 7 3～1 0 2	2 章確認テスト
	第5回	1月30日	3章 三角比（思考・判断・表現） 4章 データの分析（思考・判断・表現） 5章 集合と論証（思考・判断・表現）	P 1 0 3～1 6 1	3 章確認テスト 4 章確認テスト 5 章確認テスト
	第6回	1月30日	2章 2次関数（主体性） 3章 三角比（主体性） 4章 データの分析（主体性） 5章 集合と論証（主体性）	P 7 3～1 6 1	2 章確認テスト 3 章確認テスト 4 章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	評価方法の説明、単位認定試験の学習の仕方			コース別時間割による
	第2回				
単位認定試験		評価方法			
期末試験（2月3日・4日） （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題、調べ学習で評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	数学	数学A	2
教科書				メディア利用	
新数学A（東京書籍）				あり	
学習目標					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	1章 場合の数と確率(知識技能) 1節 場合の数 2節 確率	P 3 ～ 3 8	1 章確認テスト
	第2回	1月30日	P.39～69 2章 図形の性質(知識技能) 1節 平面図形の基礎 2節 三角形の性質 3節 円の性質	P 3 9 ～ 6 9	—
	第3回	1月30日	2章 図形の性質 4節 空間図形(知識技能) 3章 数学と人間の生活(知識技能) 1節 数や位置を表す 2節 数の作りを調べる 3節 はかる 4節 数学で遊ぶ	P 7 0 ～ 7 5 P 7 7 ～ 1 0 9	2 章確認テスト 3 章確認テスト
	第4回	1月30日	1章 場合の数と確率(思考判断表現) 2章 図形の性質 前半(思考判断表現)	P 3 ～ 6 9	1 章確認テスト
	第5回	1月30日	2章 図形の性質 後半(思考判断表現) 3章 数学と人間の生活(思考判断表現)	P 3 9 ～ 6 9 P 7 7 ～ 1 0 9	2 章確認テスト 3 章確認テスト
	第6回	1月30日	P.3～38 1章 場合の数と確率(主体性) P.39～69 2章 図形の性質(主体性) P.77～109 3章 数学と人間の生活(主体性)	P 3 ～ 6 9 P 7 7 ～ 1 0 9	1 章確認テスト 2 章確認テスト 3 章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	評価方法の説明、単位認定試験の学習の仕方			コース別時間割による
	第2回				
単位認定試験		評価方法			
期末試験（2月3日・4日） （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題、調べ学習で評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週1・ オンライン	理科	科学と人間生活	2
教科書				メディア利用	
科学と人間生活（002：東書 科人／701）				あり	
学習目標					
・ 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。					
・ 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。					
・ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。					
添削課題	回数	〆切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1月30日	①身のまわりの微生物に興味・関心を持つ。 ②微生物の種類を理解する。 ③生態系における微生物のはたらきを理解する。 ④微生物の発見の歴史について理解する。 ⑤食品や医薬品と微生物の関わりについて理解する。	14-37	1 編 1 章確認テスト
	第2回	1月30日	①身のまわりの金属やプラスチックに興味・関心を持つ。 ②リサイクルについて理解する。 ③金属の性質と再利用について理解する。 ④プラスチックの性質と再利用について理解する。	66-93	2 編 1 章確認テスト
	第3回	1月30日	①可視光線を含む電磁波の性質や利用に興味・関心を持つ。 ②光の性質について理解する。 ③光のスペクトルについて理解する。 ④色の見え方について理解する。 ⑤電磁波の性質と利用について理解する。	116-137	3 編 1 章確認テスト
	第4回	1月30日	①熱やエネルギーに興味・関心を持ち、②熱運動と温度について理解する。 ③熱量の保存について理解する。 ④熱の伝わり方について理解する。 ⑤エネルギーの変換や、⑥エネルギーの有効利用について理解する。	138-157	3 編 2 章確認テスト
	第5回	1月30日	①層や潮汐、大気や海洋の循環に興味・関心を持つ。 ②太陽層と太陽層について理解するとともに、③潮位が変動するしくみについて理解する。 ④太陽の活動について理解する。 ⑤大気と海洋の循環について理解する。 ⑥大気の運動と気象災害について理解する。	158-179	4 編 1 章確認テスト
	第6回	1月30日	①身近な自然景観や、自然災害と防災に興味・関心を持つ。 ②さまざまな自然景観と、それらの成り立ちについて理解する。 ③さまざまな自然災害と防災について理解する。 ④天気予報や緊急地震速報について知り、自然災害との付き合い方について理解する。	180-207	4 編 2 章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	ガイダンス 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方についてのガイダンスを行う。			※日程はコースのスケジュールによる
	第2回	実験① アルコール発酵 酵母によるアルコール発酵について理解を深める。			※日程はコースのスケジュールによる
	第3回	実験② 簡易分光器の作成 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する態度を身に付ける。			※日程はコースのスケジュールによる
	第4回	実験の振り返り・まとめ 実験を題材に、科学的に探究しようとする態度を身につけ、科学に対する興味・関心を高める。			※日程はコースのスケジュールによる
単位認定試験		評価方法			
期末（2月） 試験あり （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	後期	オンライン	保健体育	体育	2
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。					
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。					
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。					
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	スポーツが経済に及ぼす影響	p.148～149	なし
	第2回	1月30日	スポーツと環境	p.154～155	なし
	第3回				
	第4回				
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1.2回	体づくり運動、球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第3.4回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第5.6回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第7.8回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
	第9.10回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	オンライン	保健体育	体育	2
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けた学習 過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに，自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。					
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。					
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。					
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1月30日	スポーツにおける技術と戦術	p.160～161	なし
	第2回	1月30日	技能の上達課程と練習	p.164～165	なし
	第3回				
	第4回				
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1.2回	体づくり運動、球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第3.4回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第5.6回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第7.8回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
	第9.10回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	オンライン	保健体育	体育	1
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。					
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。					
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。					
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1月30日	生涯スポーツ、豊かなスポーツライフについて	P182～199	なし
	第2回				
	第3回				
	第4回				
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1.2回	体づくり運動、球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第3.4回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第5回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	オンライン	保健体育	体育	2
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	生涯スポーツ	P.182～199	なし
	第2回	1月30日	豊かなスポーツライフ	P.182～200	なし
	第3回				
	第4回				
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1.2回	体づくり運動、球技（ゴール型）			別途コース別時間割 による
	第3.4回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割 による
	第5.6回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割 による
	第7.8回	球技（ネット型）			別途コース別時間割 による
	第9.10回	球技（ネット型）			別途コース別時間割 による
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	オンライン	保健体育	体育	3
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1月30日	生涯スポーツ	P.182～199	なし
	第2回	1月30日	豊かなスポーツライフ	P.182～200	なし
	第3回	1月30日	スポーツを推進する取り組み	P.190～P.193	なし
	第4回				
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回～3回	マット運動			別途コース別時間割による
	第4.5回	体づくり運動、球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第6.7.8回	マット運動			別途コース別時間割による
	第9.10回	球技（ゴール型）			別途コース別時間割による
	第11回～13回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
	第14.15回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	保健体育	保健	1
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				あり	
学習目標					
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。					
(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。					
(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。					
(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	思春期と健康、性意識と性行動の選択	3単元 性意識と性行動の選択 2、3	なし
	第2回	1月30日	妊娠・出産と健康、避妊本と人工妊娠中絶	3単元 性意識と性行動の選択 4、5	なし
	第3回	1月30日	性感染症・エイズとその予防、結婚生活と健康	1 単元 現代社会と健康 1 7 3単元 性意識と性行動の選択 6	なし
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
試験あり (試験範囲は上記の通り、 時間割は後日発表)		試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	保健体育	保健	2
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				あり	
学習目標					
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。					
(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。					
(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。					
(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	生活習慣病の予防と回復、がんの原因と予防 がんの治療と回復、食事と健康	1 単元 現代社会と健康 1、4、5、7	なし
	第2回	1月30日	喫煙と健康、飲酒と健康、薬物乱用と健康	1 単元 現代社会と健康 9、10、11	なし
	第3回	1月30日	精神疾患の特徴、精神疾患の予防、精神疾患からの回復	1 単元 現代社会と健康 12、13、14	なし
	第4回	1月30日	現代の感染症、感染症の予防	1 単元 現代社会と健康 15、16	なし
	第5回	1月30日	性感染症・エイズとその予防、性意識と性行動の 選択、妊娠・出産と健康、避妊と人工妊娠中絶	1 単元 現代社会と健康 17 3 単元 生涯を通じる健康 3、4、5	なし
	第6回	1月30日	応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当、 心肺蘇生法	2 単元 安全な社会生活 4、5、6	なし
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について			別途コース別時間割 による
単位認定試験		評価方法			
試験あり (試験範囲は上記の通り、 時間割は後日発表)		試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	芸術	美術Ⅰ	2
教科書				メディア利用	
高校生の美術Ⅰ				なし	
学習目標					
基礎をはじめ、幅広い創作活動を行うことで、美的体験を重ね、生活や社会などで生かせる知識技能を養う。 具体的には、対象や事象をとらえる視点や造形的な良さを発見し、表現に生かせる力や生涯にわたり美術を愛好する心情、豊かな社会生活を創造する力を育ませたい。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1月30日	さまざまな描画材 絵を描くための描画材の種類について学習し、それぞれの性質や特徴を理解し、特に制作で用いることが多い色鉛筆の幅広い表現方法を学習する。	—	—
	第2回	1月30日	美の秩序 構成美について学ぶ シンメトリー(対称)、リピティション(繰り返し)、グラデーション(階調)、アクセント(強調)	—	—
	第3回	1月30日	三原色の学習 色光と色料の三原色について学ぶ。シアン、イエロー、マゼンタの三色を用いて三原色のチャートを完成させる。	—	—
	第4回	1月30日	三原色を用いて着彩を行う 第3回で学習したことを踏まえて、色料の三原色のみで絵を描かせる。三原色で自分の作りたい色を的活に作る力を養う。	—	—
	第5回	1月30日	手のデッサン 鉛筆の種類の違いや陰影や質感などの表現方法を学ぶ。	—	—
	第6回	1月30日	手のデッサン 手の形にフォーカスを当てて、手が持つさまざまな表現方法について学ぶ。	—	—
面接指導日	回数	授業のねらい、内容など			日程
	第1回	■レポート第1回、第2回の実施 色鉛筆の使い方、構成美の学習			1/26～1/30
	第2回				
	第3回	■レポート第3回、第4回の実施 三原色の学習、着彩			
	第4回				
	第5回				
	第6回	■レポート第5回、第6回の実施 手のデッサン			
	第7回				
	第8回				
単位認定試験		評価方法			
無し		平素の学習への取り組み、提出されたレポートの完成度(技術力・理解力・表現力・独創性)などを総合的に評価する。			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	外国語	英語コミュニケーションⅠ（前半）	2
教科書				メディア利用	
All Aboard!! English CommunicationⅠ（東京書籍）				あり	
学習目標					
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、 1．必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2．必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して話して伝えることができる。 5．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1/30	Warm-up、Lesson 1、2の新出単語、語句を理解する。	8-19 20-27 28-37	Warm-up, Pre-Lesson
	第2回	1/30	世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。動詞の過去形、進行形〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。Warm-up,Lesson 1～3の表現を理解する。	8-19 20-27 28-37	Lesson 1
	第3回	1/30	be動詞や一般動詞、動詞の過去形、〈be動詞＋動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	8-19 20-27 28-37	Lesson 2
	第4回	1/30	Lesson 3、Lesson 4、Lesson 5の新出単語、語句を理解する。	38-47 48-59 60-77	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
	第5回	1/30	被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。can, willを用いた文の形・意味・用法を理解する。海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。to不定詞〈to＋動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。	38-47 48-59 60-77	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
	第6回	1/30	can, willを用いた文、to不定詞〈to＋動詞の原形〉を用いた文、動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	38-47 48-59 60-77	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30
	第2回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30
	第3回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30
	第4回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
あり		試験範囲 p 8～77 学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく			

令和7年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
無	後期	オンライン	外国語	英語コミュニケーションⅠ（後半）	2	
教科書				メディア利用		
All Aboard!! English Communication Ⅰ（東京書籍）				あり		
学習目標						
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	1/30	Lesson 6、7、8の新出単語、語句を理解する。		78-87 88-97 98-107	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第2回	1/30	江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。		78-87 88-97 98-107	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第3回	1/30	受け身：〈be動詞＋過去分詞〉、比較表現：〈-er〉 〈the -est〉 〈as＋原級＋as〉、現在完了形：〈have[has]＋過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。		78-87 88-97 98-107	Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8
	第4回	1/30	Lesson 9、Lesson 10、Reading 2 の新出単語、語句を理解する。		112-121 122-131 132-137	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
	第5回	1/30	プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。		112-121 122-131 132-137	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
	第6回	1/30	関係代名詞who, whichを用いた文、名詞を後ろから説明する分詞の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。		112-121 122-131 132-137	Lesson 9 Lesson 10 Reading 2
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程	
	第1回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30	
	第2回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30	
	第3回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30	
	第4回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30	
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
あり		試験範囲 p 8～77 学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく				

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	外国語	英語コミュニケーションⅡ	2
教科書				メディア利用	
All Aboard!! English Communication Ⅱ（東京書籍）				あり	
学習目標					
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1/30	Lesson 6、Lesson 7、 Lesson 8の新出単語や語句を理解する。	78-91 92-105 106-119	Lesson 6確認テスト① Lesson 6確認テスト② Lesson 7確認テスト① Lesson 7確認テスト② Lesson 8確認テスト① Lesson 8確認テスト②
	第2回	1/30	動詞の目的語になるif節を用いた文の形・意味を理解している。また、京野菜について学んだり、京野菜のポスターに書かれた事柄や地元の有名な場所やものについて調べた事柄を整理・理解する。]関係副詞where、whenを用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解する。知覚動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、生物模倣について学んだり、自然界のデザインをヒントに開発された製品について調べた事柄を整理・理解する。	78-91 92-105 106-119	
	第3回	1/30	知覚動詞、関係副詞：where、when、動詞の目的語になるif節の形・意味を理解し、指示された英作文を作成する。	78-91 92-105 106-119	
	第4回	1/30	Lesson 9、Lesson 10、Reading 2の新出単語や語句を理解する。自分で調べた事柄を用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身につける。	120-133 134-147 148-155	Lesson 9確認テスト① Lesson 9確認テスト② Lesson 10確認テスト① Lesson 10確認テスト② Reading 2
	第5回	1/30	使役動詞を用いた文の形・意味を理解している。また、チョコレートをめぐる社会問題とその解決策について学んだり、その問題について調べた事柄を整理・理解する。分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。また、ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について調べた事柄を整理・理解している。自分たちで結末を考えた、英語で書かれたBear's Pieの内容を理解する。また、登場人物の気持ちが聞いている者に伝わるように、朗読する知識を身につける。	120-133 134-147 148-155	
	第6回	1/30	使役動詞、分詞構文などの英作文を作成する。	120-133 134-147 148-155	
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			2026/1/26～2026/1/30
	第2回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30
	第3回	音読指導等			2026/1/26～2026/1/30
	第4回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			2026/1/26～2026/1/30
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
あり		試験範囲 p 78～155 学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	家庭	家庭総合（前半）	2
教科書				メディア利用	
高等学校 家庭総合 自立 共生 創造（東京書籍）				あり	
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よいよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ることに資する実践的な能力を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1月30日	第1章：生涯を見通す 第2章：人生をつくる 第3章：子どもと共に育つ 【知識・技能】	p.10-17 p.20-43 p.44-75	第1章確認テスト
	第2回	1月30日	第4章：超高齢化社会を共に生きる 第5章：共に生き、共に支える 【知識・技能】	p.76-93 p.94-103	第2章確認テスト
	第3回	1月30日	第1章～第5章の内容についての 知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	p.10-17、p.20-43 p.44-75、p.76-93 p.94-103	第3章確認テスト
	第4回	1月30日	第5章の内容について 生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動 を計画する 【主体的】	p.94-103	第4章第5章 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第3章 子どもと共に育つ 妊婦体験を通して、妊婦出産や母体の変化・周囲の理解について学習する			別途コース別時間割 による
	第2回	第3章 子どもと共に育つ 赤ちゃんのお世話実習を通して子どもについて学習する			別途コース別時間割 による
単位認定試験		評価方法			
期末（2月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	家庭	家庭総合（後半）	2
教科書				メディア利用	
高等学校 家庭総合 自立 共生 創造（東京書籍）				あり	
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よいよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（３）様々な人々と協働し、よいよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ることを実践的な能力を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 （確認テスト）
	第1回	1月30日	第6章：食生活をつくる 第7章：衣生活をつくる 【知識・技能】	p.104-159 p.160-179	第6・7章確認テスト
	第2回	1月30日	第8章：住生活をつくる 第9章：経済生活を営む 第10章：持続可能な生活を営む 【知識・技能】	p.202-229 p.230-251 p.252-261	
	第3回	1月30日	第6章～第10章の内容についての 知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	p.104-159、p.160-179 p.202-229、p.230-251 p.252-261	第8・9章確認テスト
	第4回	1月30日	第7章の内容について 生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動 を計画する 【主体的】	p.160-179	
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第7章 衣生活をつくる 被服製作実習を通して、日常生活に役立つ技術を習得する			別途コース別時間割 による
	第2回	第7章 衣生活をつくる 被服製作実習を通して、日常生活に役立つ技術を習得する			別途コース別時間割 による
単位認定試験		評価方法			
期末（2月）試験あり （試験範囲は上記の通り、 時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組む態度＞の各観点の到達度から評価する			

令和7年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	オンライン	情報	情報Ⅰ	2
教科書				メディア利用	
新編情報Ⅰ				あり	
学習目標					
情報に関する科学的な見方・考え方を重視し、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	2026/1/30	情報の特性やメディアの特徴、問題解決における情報技術の活用を学ぶ。情報社会のモラルや法規、個人情報の扱い、SNSの危険性を理解し、著作権や引用のルールを習得。さらに、新しい情報技術の進展やサイバー犯罪、健康への影響について学習する。	6-25	1章確認テスト
	第2回	2026/1/30	メディアの変遷や特性、ソーシャルメディアやネットコミュニケーションの特徴を学ぶ。デジタルデータの仕組みやメリット・デメリット、情報のデジタル表現や圧縮を理解する。情報デザインやユニバーサルデザイン、ユーザインタフェースについて学習する。	34-51	2章確認テスト
	第3回	2026/1/30	コンピュータの基本構成やハードウェア・ソフトウェアの仕組みを理解し、演算や処理回路について学ぶ。さらに、アルゴリズムの必要性や表現方法、プログラムの作成や制御構造について学習する。	62-81	3章確認テスト
	第4回	2026/1/30	情報通信ネットワークの基礎、プロトコル（TCP/IP）を学ぶ。ネットワークハードウェアやサーバ、IPアドレス、DNSの役割を理解し、インターネットやWWW、電子メールについて学習する。さらに、情報セキュリティの確保方法やデータ・データベースの役割と活用例を学ぶ。	90-112	4章確認テスト
	第5回				
	第6回				
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	文書処理ソフトウェアの操作。文書処理ソフトウェアについて、書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法を学習する。ディレクトリやファイルの操作について学習する。			2026/1/26～ 2026/1/30
	第2回	表計算ソフトウェアの操作。表計算ソフトウェアの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。表計算ソフトウェアでの数式の利用を学習する。表計算ソフトウェアでの関数の利用を学習する。			2026/1/26～ 2026/1/30
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
無し		添削課題や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については添削課題における各観点の到達度から評価する。			